

※ 特別研修支援関係

令和5年度 大牟田市及びみやま市立小学校合同
宿泊体験学習事前研修会

〔主催〕 国立諫早青少年自然の家
〔期日〕 令和5年6月9日(金) 13:00～17:00
〔会場〕 大牟田市立白川小学校 体育館及びミーティングルーム
〔参加者〕 本施設利用の大牟田市及びみやま市立小学校の担当者
〔協力〕 大牟田市教育委員会 みやま市教育委員会
〔担当職員〕 小野 栄策、西田 尚由、寺中 拓也、中里 文彦

1)趣旨

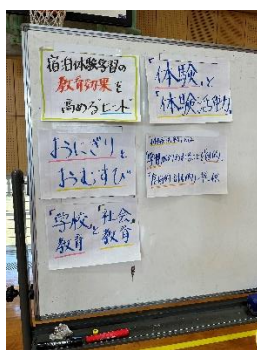
諫早青少年自然の家を利用して宿泊体験学習を実施する小学校が、目的やねらいを明確にした、より教育効果の高い活動プログラムを計画できるようにするために、各校の担当者を対象とした事前研修及びプログラム調整会を行う。

2)プログラム

| 日帰り |
|--|
| 13:30～ 開会 研修「宿泊体験学習の教育効果を高める手法」【写真①】 講師:諫早自然の家職員 |
| 14:30～ 説明「活動プログラムの立て方・調整の仕方」【写真②】 説明:諫早自然の家職員 |
| 15:00～ プログラム調整会 打合せ終了後解散 閉会、片付け |

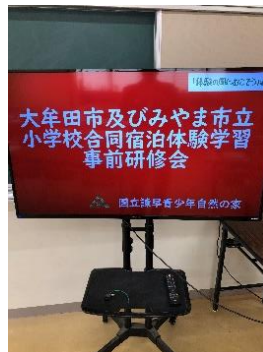
3)事業展開

①研修:宿泊体験学習の教育効果を高める手法



教育効果を高める体験活動の在り方について講義を行い、実際にI-CAP(諫早コミュニケーションアドベンチャープログラム)を体験してもらった。

②説明:活動プログラムの立て方、調整の仕方



自然の家の利用の仕方や活動計画の立て方を説明した後、同日利用の学校団体ごとに分かれてプログラム相談を行った。

4)運営上の成果と課題

①成果

- ・I-CAP の手法を多くの先生方に知ってもらうよい機会となった。
- ・同日の施設利用団体どうして話し合いを行いながら、活動計画をたてられたので、スムーズに調整を行えた。

②課題

- ・学校団体のニーズに合った研修日程や参加体制、研修内容、情報提供内容をブラッシュアップしていく必要がある。